

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第241号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年9月25日 07時03分ごろ	
発生場所	東京都八丈島南方17.6km付近 （概位 北緯31°30′ 東経139°50′）	
事故等調査の経過	平成21年9月29日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 ^{かいせい} 海青丸、12.21トン	
船舶番号、船舶所有者等	TK2-1870（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	クラッチ油圧切替弁内のリング損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、平成21年9月21日04時00分ごろ、燃料、氷及び食料等を積み込んで、水揚げ港としていた静岡県下田港を出港したのち、基地の東京都新島村式根島を經由して八丈島南方の海域に向かい操業を開始した。</p> <p>25日07時03分ごろ、本船は、操業を終えて式根島に帰港しようとしたところ、クラッチが嵌合しなくなった。</p> <p>本船は、救援の巡視船にえい航され、八丈島八重根港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1m、潮流 南へ約3km/h</p>	
その他の事項	<p>本船は、約1年前に整備業者が油圧切替弁を含むクラッチの開放整備を実施した。</p> <p>本船は、整備業者に依頼して、クラッチ油圧切替弁を開放点検したところ、油密を保つリングの1本が固定溝から一部はみ出た状態となっていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、クラッチ油圧切替弁のリングが固定溝から一部はみ出た状態となり、潤滑油が漏洩しはじめ、クラッチを嵌合するための油圧が保持できなくなったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が八丈島南方海域から帰航中、クラッチ油圧切替弁のリングが固定溝から一部はみ出た状態となり、潤滑油が漏洩しはじめたため、クラッチを嵌合するための油圧が保持できなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>	